

文系学部における 地域をフィールドとした 教育研究の方向性

2019 **2.14** 木 14:00～16:30

会場 三重大学 人文学部校舎3階 大会議室

多くの地方大学で地域連携・地域貢献事業が展開されていますが、特に文系学部の視点から地域をフィールドとした教育研究の方向性を考えます。本シンポジウムでは、学部独自の研究センターを核として積極的に活動を展開されている他大学の先進事例を紹介していただき、意見交換を通して今後の方向性を検討します。

1. 開会挨拶

駒田 美弘（三重大学長）

2. 趣旨説明

安食 和宏（三重大学人文学部長）

3. 招待者による講演

- ① 弘前大学人文社会科学部「地域未来創生センター」の活動について
李 永俊（弘前大学人文社会科学部教授、地域未来創生センター長）
- ② 島根大学法文学部「山陰研究センター」の活動について
田中 則雄（島根大学法文学部長、山陰研究センター長）

4. 三重大学人文学部からの発言

「三重の文化と社会研究センター」設立の経緯について

豊福 裕二（三重大学人文学部副学部長、三重の文化と社会研究センター副センター長）

5. 地元関連団体からのコメント

- ① 西村 信博（三重県中小企業家同友会代表理事）
- ② 米山 哲司（NPO法人Mブリッジ代表理事）

6. 総合討論

パネリスト… 李 永俊、田中 則雄、豊福 裕二、西村 信博、米山 哲司
コーディネーター… 青木 雅生（三重大学人文学部准教授）

7. 閉会挨拶

安食 和宏

※敬称略